

新規就農支援プラン

様式3

【注意事項】応募者のみなさまへ

- ・この資料では地域受入連絡会（農業法人等）が育成する新規就農者の姿について紹介します。ただし、経営開始時の状況によって経営面積はそれぞれ異なり、資材の価格や農産物の相場も変動します。記載の数字は就農後の経営規模や所得、労働時間を保証するものではなく、あくまで目安とお考えください。
- ・時間をかけて情報収集を行い、実現したい農業経営やライフスタイルを明確にし、研修先を選びましょう。

1 受入地域の基本情報

連絡会（農業法人等）名	遠州夢咲地域養成連絡会 (代表電話：0537-73-5550)	連絡会 (農業法人等)の特徴	研修生を受け入れており、これまでに60名を超える研修生が就農している。 就農コストを抑える中古ハウスを利用できるように地域農家からの情報収集に努めている。
作目	トマト		
関係市町	掛川市		
指導農家数	1 <input checked="" type="radio"/> 人 <input type="radio"/> 社		
地域が望む 応募者の人物像	応募前に現地を訪れ体験等を行って頂き本人にあってるか確認して頂きたい。夢咲地域に移住していただける方、農業に使える自己資金 500万円以上用意できる方、 地域住民との協調に理解があり、技術や経営ノウハウなどを学ぶ姿勢のある方		

2 経営開始時の労働力（モデル）

家族労働力	1	人	備考	・10aあたり1人位の雇用が必要、8月～7月に3人 ・当管内では単身で就農するケースが多い	
雇用労働力	常雇	0			人
	臨時雇用	3			人

労働力確保に関する支援： あり なし

【支援内容】

JA遠州夢咲では機械選果場を整備しており、出荷コンテナでJA選果場へ搬入する。
さらに、無料職業紹介所によるパート労働者の紹介ができます。

3 経営開始時の農地（モデル）

面積（本ば）	20 a	備考	水利は大井川用水か井戸での対応が多い。大井川用水は農地地代に含む。
借地料	20 千円/10a・年		

※経営開始時の経営面積を保証するものではありません。

就農農地（候補）について： 研修前に見通しが立っている 研修期間中に探す その他

【支援内容】

指導農家、JA遠州夢咲、市農業委員会が連携して農地確保を支援します。受け入れ農家におおむね候補地有り
荒廃農地を就農地とする場合、整備費の一部を補助する事業があります。※使用する場合は要件があります。

4 経営開始時に必要な主要施設・機械（モデル）

区分	装備	数量	金額（万円）	備考
施設	ハウス本圃	2,000㎡	3,000~3,200	・初期投資額は、青年等就農資金（融資限度額3,700万円）にて借り入れするケースがほとんど ・ハウスの中古物件が見つかるかどうかで初期投資額が変わってくる ・指導農家によっても仕様が異なり、研修生は指導農家及び新規就農者の先輩にならって施設や機械等を選定する
施設	高設栽培システム	1 式	800	
施設	循環扇	1 式	100	
機械	暖房設備	1 式	210~300	
総計			4,110~4,400	

施設・機械の導入、肥料・農薬・資材等の購入に活用できるJA独自の支援： あり なし

【支援内容】

JA遠州夢咲では、JAで購入した肥料、農薬、の購入費用に奨励金を支払いしています。
JA遠州夢咲では、現在新規就農者が経営を開始後に助成する「新規就農者への営農継続支援事業」を補助しています。（4年間：1年目10万円 以後毎年2.5千円減額）状況によりこの限りではありません。

